

## 東北新幹線車両点検に伴う運転見合わせについて

2018年6月18日  
東日本旅客鉄道株式会社

6月17日（日）13時56分頃から東北新幹線仙台駅～古川駅間において停電に伴う車両点検を行った影響により、終日にわたり東北・上越・北陸・山形・秋田の各新幹線に運休及び大幅な遅延が生じました。

ご利用のお客さまに多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

### 1. 概況

6月17日（日）13時56分頃、下り東北新幹線はやぶさ21号（お客さま617名ご乗車）・こまち21号（お客さま180名ご乗車）は、仙台～古川駅間走行中に一時的な停電（停電は仙台～古川駅間で発生・停電は直ちに復旧）が発生し非常ブレーキが動作したため停車しました。当該列車は応急処置を行い19時13分に運転を再開し、仙台～古川駅間にある車両基地（新幹線総合車両センター）に327分遅れで到着しました。このため、はやぶさ21号は仙台～新函館北斗駅間・こまち21号は仙台～秋田駅間が運休となりました。その後、東北新幹線は19時40分に東京～新青森駅間の上下線全線で運転を再開しました。

なお、15時16分から17時06分まで、はやぶさ21号・こまち21号の脇に、上り東北新幹線はやぶさ22号（新青森駅13時15分発 東京行16時32分着10両）を横付けし、ご乗車のお客さまの救済を行いました。はやぶさ22号は17時16分に運転を再開し仙台駅に146分遅れで到着しました。

### 2. 原因

車両を調査したところ、12号車屋根上のパンタグラフ（架線から電気を取る装置）の下（碍子<sup>がいし</sup>）に何かがぶつかった痕跡、地絡（ショート）した痕跡が発見された（別紙参照）ことから、地絡による停電の影響を受け、車両の電気系統の機器に不具合が生じたことが原因と思われませんが、詳細は引き続き調査中です。なお、瞬時停電の発生箇所付近で鳥の死骸が発見されておりますが、現時点で停電との因果関係は不明です。

### 3. 影響

約150,000人のお客さまにご迷惑をおかけいたしました。

「こまち 21 号」 12 号車 パンタグラフ付近の状況

